

# 土気踏切勉強会

第7回 令和5年2月28日(火)



# 第7回 本日の議題

---

- 1 非常停止ボタンの押下訓練の結果
- 2 土気踏切周辺道路の課題等取りまとめ
- 3 その他

# 第7回 本日の議題

---

1 非常停止ボタンの押下訓練の結果  
(訓練状況と頂いたご意見)

2 土気踏切周辺道路の課題等取りまとめ

3 その他

# 訓練状況 (① 令和5年2月16日 (木) 10時~11時25分)



参加者：14名 (大人12名、子供2名)



# 訓練状況(② 令和5年2月18日(土) 10時~11時25分)



参加者：33名(大人22名、子供11名)



# 訓練状況(② 令和5年2月18日(土) 10時~11時25分)



休日は、子ども連れの方もたくさん来ていただきました。



# 非常停止ボタンの押下訓練【所感】

- ・非常停止ボタンを押すとどうなるのか、どのように対応すればよいかを踏切利用者理解してもらえ、良い機会となった。
- ・危ないと思ったら躊躇なく非常停止ボタンを押してもらうことを、あらためて踏切利用者にお伝えすることができた。
- ・非常停止ボタンを押す機会の少ない踏切利用者の方々が、興味を持ってデモ機のボタンを押下してくれた。



# 非常停止ボタンの押下訓練【主なご質問⇒回答】

---

- ・非常ボタンを押すとどうなるのか。  
⇒ 線路脇に設置された特殊信号発光機（赤色LED）が明滅する。
- ・特殊信号発光機（赤色LED）が明滅した際、運転士の目視確認のみか。  
⇒ そうである。
- ・特殊信号発光機はどのくらいついているのか。  
⇒ 列車の運転士が800m先から視認できるよう、設置されている。
- ・実際の非常ボタンは、同じくらいの硬さなのか。（押しづらいのか）。  
⇒ デモ機より少し硬い。
- ・設置高さの基準はあるのか。  
⇒ 1500mmが基準である。
- ・非常ボタンを押下後、携帯を持っていない場合はどうしたらよいか。  
（フリーダイヤルに連絡できないがどうするのか）  
⇒ 列車の運転士が、安全確認のために踏切まで来るので、そこで状況を伝えてほしい。



# 頂いたご意見

(大網街道側)



全景



砂利の部分が歩きづらい  
⇒対応策を検討します。



踏切非常停止ボタン  
までの路面が通路面  
より低くなっている。

⇒対応策を検討しま  
す。





# 頂いたご意見

(あすみが丘側)



## 全景

踏切非常停止ボタンが高く、  
高齢者や子供が押せないの  
ではないか

⇒対応策を検討します。



踏切非常停止ボタンの  
足場が悪い。

⇒対応策を検討します。



柵の支柱(レール造)と  
踏切注意柵との間の隙  
間があり、危ない。

⇒対応策を検討します。

# 第7回 本日の議題

---

- 1 非常停止ボタンの押下訓練の結果
- 2 土気踏切周辺道路の課題等取りまとめ**
- 3 その他



# 土気踏切周辺道路の課題等について

→別紙をご覧ください。

資料1 大網街道の歩道 幅員

資料2 大網街道の歩道 切り下げ部

資料3 大網街道の課題等

資料4 土気町47号線 幅員

資料5 土気町47号線 切り下げ部

資料6 土気町47号線の課題等

※当日使用した写真帳は  
千葉市道路計画課のホームページに  
掲載してあります。

URL↓

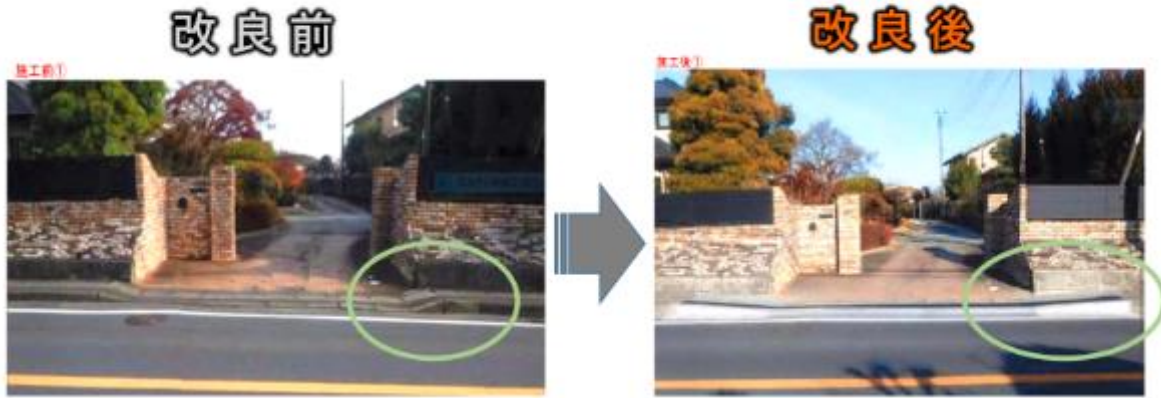
<https://www.city.chiba.jp/kensetsu/doro/keikaku/tokehumikiri.html>

こちらを読み込むことでも  
ご確認いただけます⇒



# 歩道整備事例など（第5回勉強会資料の再掲載）

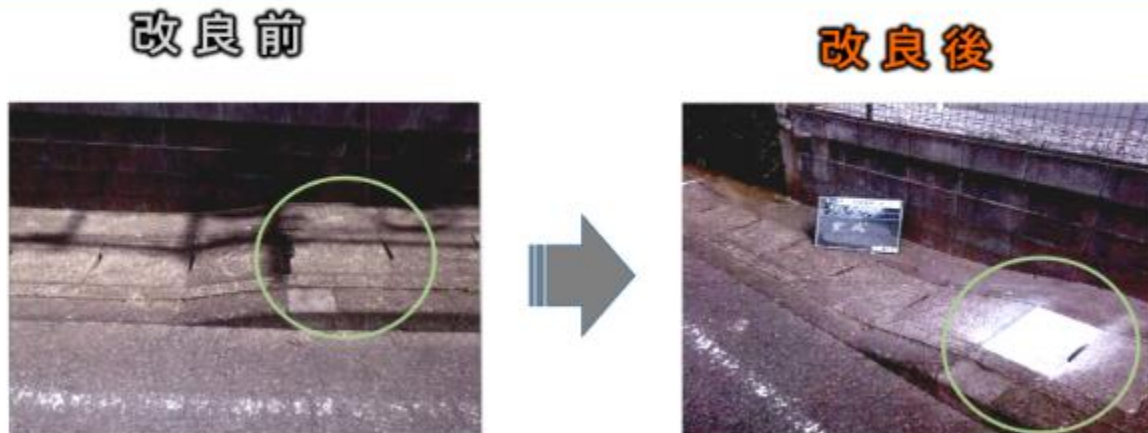
## 改良例 ①歩道の勾配解消



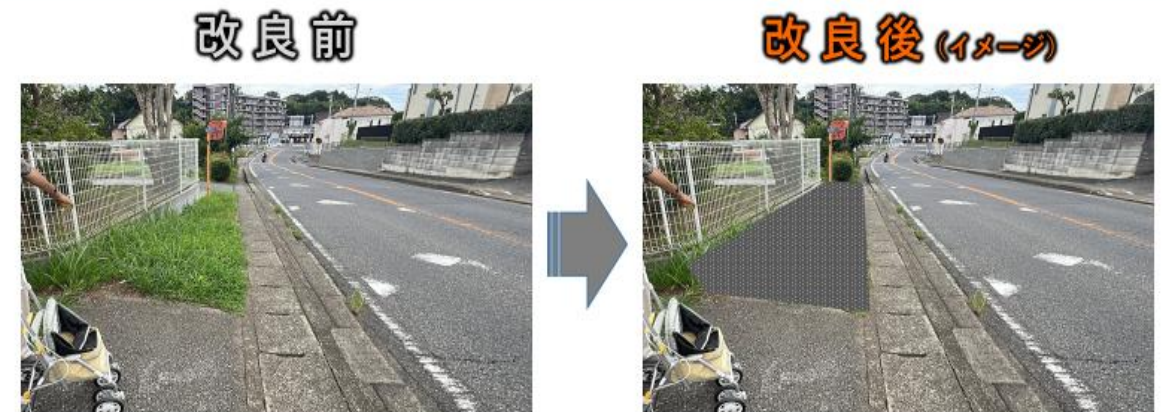
## 改良例 ③側溝蓋の改良



## 改良例 ②側溝蓋の交換



## 改良例 ④未舗装部の舗装



本日はありがとうございました。

土気踏切や大網街道などの周辺道路について  
多くのご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。